

アメリカ大使館

2011年6月20日

星野信夫 様
185-8501 東京都
国分寺市戸倉 1-6-1

親愛なる星野信夫様

2011年3月31日のプルトニウム実験についてご意見を賜りまして、ありがとうございました。これらの実験はオバマ大統領のプラハ（でスピーチをしたときの）計画をサポートするものです。彼はプラハでのスピーチの中で、我々がこれらの兵器を保持している限り、我々は核実験無しにそれら兵器の安全性、防衛性と実効性を確保しなければならないと述べています。これら一連の実験で、上記確保すべき点の確保のためのデータを集めることができるのです。

地下核実験を行うことなしに、アメリカ合衆国の貯蔵核兵器の安全性と実効性を確保するための試みのひとつとして、国家核安全保障局において、2011年3月31日にサンディア国立研究所のZ設備において、実験を行いました。

サンディアZ設備で行われた実験で、研究者たちにより、極度の圧力や温度下でのプルトニウム構成要素を発見することができました。アメリカ合衆国の貯蔵核兵器量を削減しようとする試みを続けている現在、削減方向にある貯蔵核兵器の安全性と実効性を確実なものとすることは重要であります。これらの実験により、必要不可欠な科学的データと技術情報を得ることができるのです。このデータは、コンピュータ上の規範（ひな形）や予測と比較され、コンピュータ上の規範（ひな形）をより信頼性が高く、より検証可能性が高いものとしてくれるのです。

この問題に関して、貴重なお時間を割き、あのようなご意見を賜りまして、感謝いたします。繰り返しになりますが、ご意見をありがとうございました。

ロバート S ルーク
政治局公使